
保育所等利用待機児童数調査に関する 国民の皆様からのご意見募集について

【調査結果】

目次

調査結果の概要	・ ・ ・ ・ ・	P. 1
回答者の属性	・ ・ ・ ・ ・	P. 2
現状の待機児童数の取扱いについてのご意見	・ ・ ・ ・ ・	P. 3
待機児童数の取扱いについての要望や改善すべき点	・ ・ ・ ・ ・	P. 5

調査結果の概要

- 調査の目的

保育所等利用待機児童数調査に関する検討会において、特定の保育園を希望する者などの取扱いについて議論を進めるにあたり、現状の取扱いに関するご意見を募集し、今後の検討に活用する。

- 調査実施時期

平成28年10月28日～11月6日

- 調査対象

国民の皆様

- 調査方法

厚生労働省ホームページから、回答様式にアクセスの上、回答。

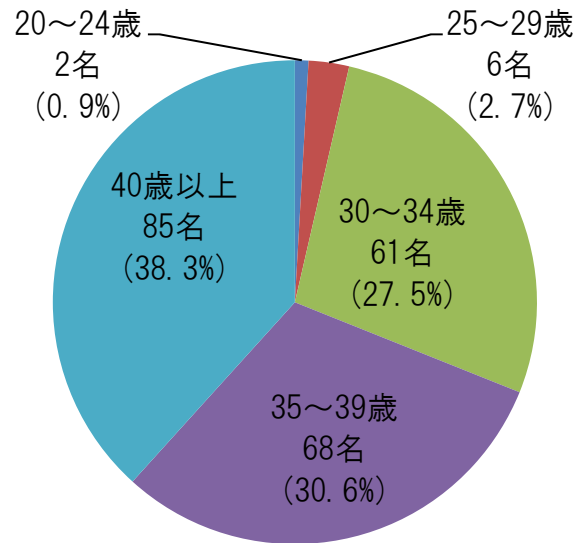
- 回答総数

222名

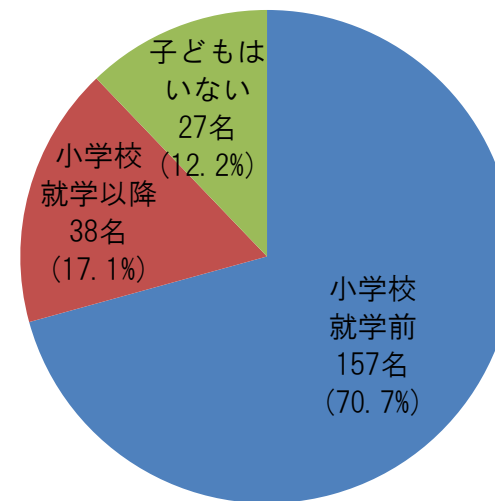
回答者の属性

【回答者の性別】 男性：52名（23.4%）、女性：170名（76.6%）（n = 222）

【回答者の年齢構成】



【回答者の一番下のお子様の年齢】

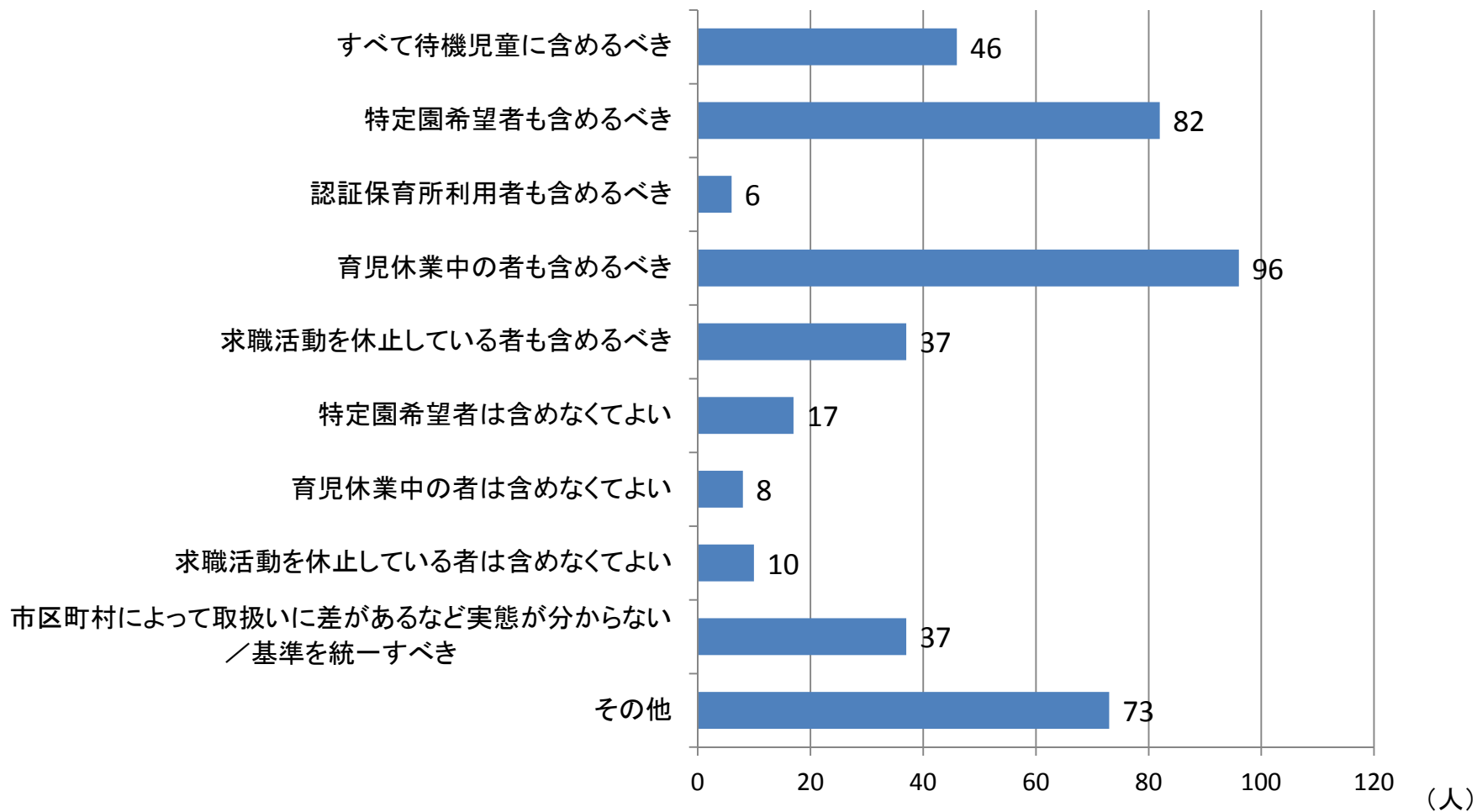


【都道府県別回答者数（上位5都府県）】

- 東京都 106件（47.7%）
- 神奈川県 20件（9.0%）
- 埼玉県 15件（6.8%）
- 大阪府 12件（5.4%）
- 愛知県 10件（4.5%）

現状の待機児童数の取扱いについてのご意見 ①

【設問】 現状の待機児童数の取扱い（人数の数え方）についてのご意見をお聞かせください。
（n = 412 ※複数該当有）



現状の待機児童数の取扱いについてのご意見 ②

○ 「すべて待機児童に含めるべき」の具体例

- ・預けたいのに空きがないから待機している状態の人はすべて待機児童に含めるべき。
- ・希望したのに入れない場合はどんな理由であれ待機児童に含めるべき。

○ 「特定園希望者も含めるべき」の具体例

- ・朝の通勤時間を考えると、20～30分でも兄弟姉妹で別々の園、通勤経路と逆方向にある園などの場合は、負担が大きく、保護者の私的な理由とは言えないのではないか。
- ・兄弟姉妹で別の園になったときに辞退した場合も待機児童に含めるべき。

○ 「育休中の者も含めるべき」の具体例

- ・育児休業中の方も含めてカウントしないと、本当の保育需要が把握できないのではないか。
- ・保育所に入れずに育児休業を延長している方もいるので、待機児童に含めるべき。

○ 「求職活動を休止している者も含めるべき」の具体例

- ・保育園に入れなかったから求職活動を休止しているケースは多い。
- ・保育園が決まっていなくて求職活動ができない。

○ 「特定園希望者は含めなくてよい」の具体例

- ・他にに入れる保育所があるのに入所しない場合は、本当に入れなくて困っているわけではないのだと思う。
- ・近隣に空きのある施設がある場合は待機児童に含めなくてよいが、近隣に空きがある施設がないのであれば待機児童に含めるべき。

○ 「育児休業中の者は含めなくてよい」の具体例

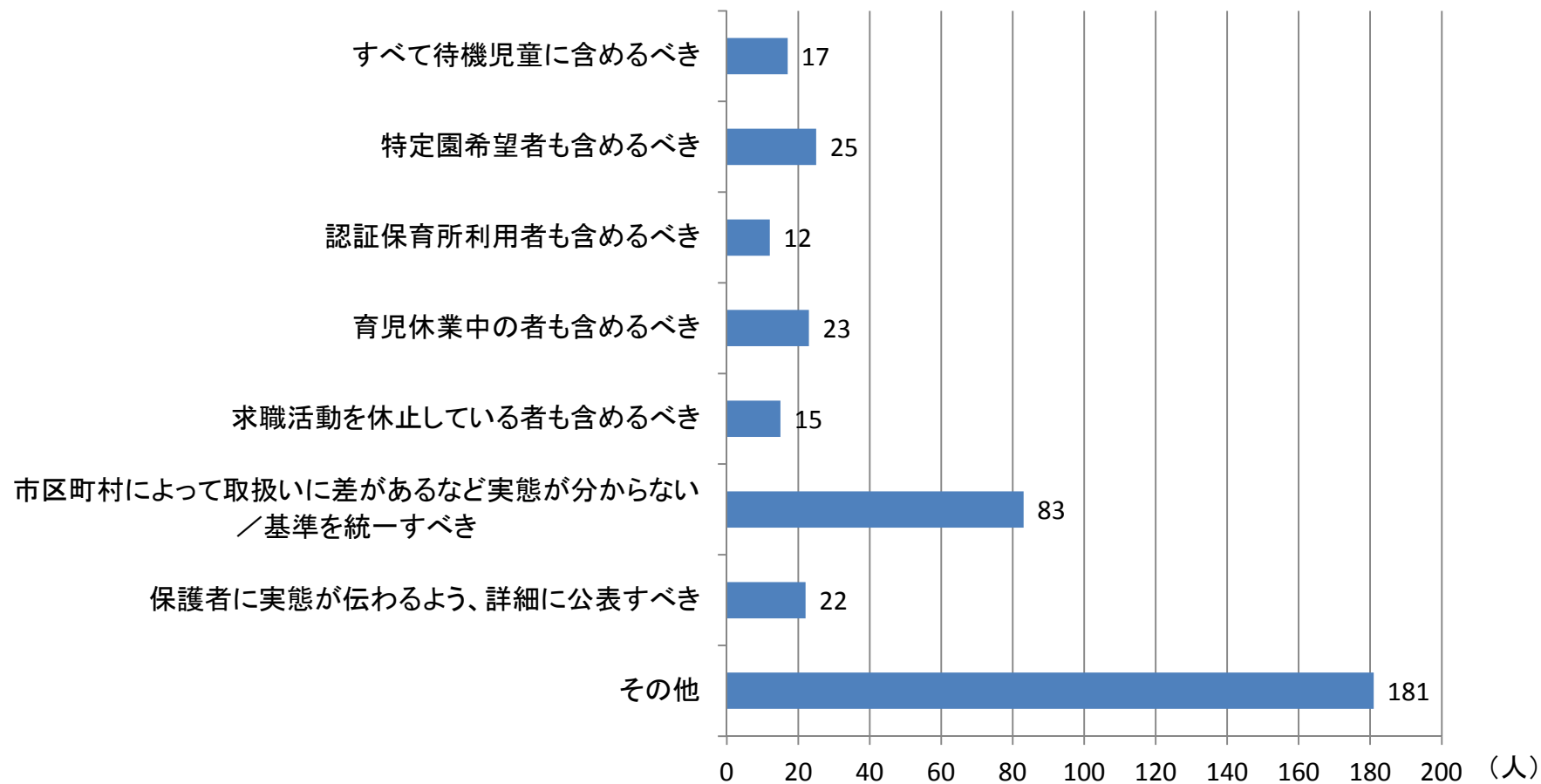
- ・育児休業ならば、休みを取って子育てをしているので。

○ 「求職活動を休止している者は含めなくてよい」の具体例

- ・求職活動を休止していれば、保育を受けられないのではないか。
- ・求職活動を休止している人を待機児童から除くことについてはその通りだと思うが、休止の定義が自治体間で異なるようでは困る。

待機児童数の取扱いについての要望や改善すべき点 ①

【設問】 待機児童数の取扱いについての要望や、改善すべき点とされていることをお聞かせください。（n = 378 ※複数該当有）



待機児童数の取扱いについての要望や改善すべき点 ②

○ 「すべて待機児童に含めるべき」の具体例

- ・ 家庭状況がどうあれ、保育所入所を希望して入れないのであれば待機児童とすべき。
- ・ 自治体の解釈の余地があると、住居などを検討する上で参考にならない。

○ 「特定園希望者も含めるべき」の具体例

- ・ 出勤途中にある、家の近くなど、入りたい保育園を選べるべき。理由をつけて待機児童としてカウントしない現状は、現実と大きく乖離している。
- ・ 30分かけて保育園に預けていたら仕事に間に合わないし帰りも遅くなり、毎日の負担が大きい。

○ 「育児休業中の者も含めるべき」の具体例

- ・ 年度途中でも年度始めでも、母親が働きたい・育休明けで復職したいと思った時に、安心して預けられる環境を整えてほしい。
- ・ 職場復帰を望んでいるが、預け先がなく育休を延長している方は、待機児童にカウントされるべき。

○ 「求職活動を休止している者も含めるべき」の具体例

- ・ 仕事を探したくても待機児童が多く、保育園に入るのが難しい。仕事がないければ保育園には入れないし、保育園が決まっていなければ仕事が見つからない。

○ 「市区町村によって取扱いに差があるなど実態がわからない／基準を統一すべき」の具体例

- ・ 基準が自治体毎に異なるので、比較の意味がない。
- ・ 保護者は、保育園に入れるかどうかで居住地を変更している現状がある。

○ 「保護者に実態が伝わるよう、詳細に公表すべき」の具体例

- ・ 認可保育所に入れた人数、入れなかった人数の他に、入れなかった方の内訳も公表してほしい。
- ・ 今どれくらいの人が申込をしていて、入園できていないのかを知りたい。
- ・ 自治体毎に公表される情報に差がある。
- ・ 保護者が十分判断できる情報を提供することが必要。